

# 報 告 書

開催日時	平成27年10月29日(木) 19時00分～21時10分				
自治協議会名	猪田地区住民自治協議会	開催場所	猪田地区市民センター		
出席議員	上田宗久、田中 覚、森川 徹、安本美栄子				
	司会者	田中 覚	記録者	森川 徹	報告者
参加人数	26 名				

## 【主な意見・提言等】

○庁舎はどうなるのか。

A. ゼロベースのはずが市長は図書館ありきの説明会をおこなっている。今後、市民参加の委員会で議論していくこととなる。

○議会はその委員会の出した結論に従うのか。

A. 議会も市民の皆様の声を聞いていきたい。

○包括交付金について、世帯数が考慮されておらず人口割だけで算定するのはいかがなものかと思う。それぞれ事務量は変わらないはずであり、算定基準に根拠が見られない。

A. 個人的に世帯数も算定に入れるべきだと感じる。修正できないか提言し返答したい。

○市債は減っているのか。また利息はどれぐらいか。

A. 市債は減っている。利息は約7億円。

○以前から要望している山出・依那具線と、もう1本の農道について、山出・依那具線は県からの回答もなく、農道についてはスポットも当たっていない。どちらの道路も368号と422号のバイパス道路として多くの通行量があるため危険である。拡幅工事もしくは新たなバイパス道路の整備を望むが、大掛かりなので、たちまち問題（対向出来ない等）が解消されるような策を講じていただけるよう議会からも働きかけてほしい。

A. 地元議員も動いてはいるが、今後国道368号の4車線化の動向も見ながら進めて行く。

○国道422号線の猪田道駅手前の三差路に、→国道368号線という看板が設置されている。いかにも抜け道として使用できる道路と思われるので、この案内看板は撤去してほしい。

A. 撤去が可能か調査し後刻報告したい。

○太陽光発電の開発工事が砂防法の関係で中断している。山が切り開かれたことにより、排水口へ土砂が流れこみ迷惑している。今更元通りに戻すことは不可能なことは分かっているのでストップしている工事を速やかに再開し諸問題を解決できることを希望する。

この問題は県が担当であると市は逃げ腰のように感じるが議会からも市、県へ働きかけをしていただきたい。

A. 結果はどうあれ、市民が安心して暮らせるよう行政同士が話し合い良い方向へ迎えるよう働きかけていきたい。

○旧成和中学校跡が避難所に指定されているが猪田地区から離れすぎているので避難所の体をなしていないように感じる。また管理されているのか疑問でありいつまでもあのまま放置しておくのはいかなものか。入口が施錠されておりドクターヘリも降りられない状況である。

A. 放置は適切でなく、何らかの処置が必要である。

伊賀市議会議長 様

平成 27年 10月 30日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成27年度議会報告会4班

班長 上田 宗久